

令和8年度 沖縄県高等学校新人体育大会

第42回沖縄県高等学校新人アーチェリー競技大会実施要項

(2026/7/6)

- 主催 沖縄県高等学校体育連盟・沖縄県教育委員会
後援 公益財団法人沖縄県スポーツ協会・NHK沖縄放送局・琉球新報社・沖縄タイムス社・
株式会社ラジオ沖縄・沖縄テレビ放送株式会社・琉球放送株式会社・琉球朝日放送株式会社
主管 沖縄県高等学校体育連盟アーチェリー競技専門部・沖縄県アーチェリー協会

1. 期 日 令和8年8月29日(土)～8月30日(日) ※運営、天候等により変更の場合あり
(1) 開始式 8/29(土) 9:30 から (※運営、天候等により変更の場合あり)
(2) 競技(30Mラウンド) 8/29(土) 9:45 から (//)
(70Mラウンド) 8/30(日) 9:15 から (//)
(※出場選手が多い場合は、競技日程を調整する場合あり。)
2. 会 場 宜野湾高等学校アーチェリー競技場
3. 競技規定 (公社)全日本アーチェリー連盟競技規則 2026～2027年及び大会運営規定による。
4. 競技方法
(1) 70Mラウンド(70M72射、720点満点)の個人戦。
30Mラウンド(30M72射、720点満点)の個人戦。
(2) 各校上位3名(1～2名でも可)の得点をもって団体戦の得点とする。70Mラウンドの選手が3名に満たないときは30Mラウンドに出場した選手の前後半どちらか高い36射の得点で補うものとする。
5. 参加資格
(1) 沖縄県高等学校体育連盟に加盟している高等学校の1・2年に在学する生徒であること。
(2) 令和8年度沖縄県アーチェリー協会又は身障者アーチェリー協会に登録済みの者であること。
(3) 平成20年(2008年)4月2日以降に生まれた者とする。但し、同一学年での出場は1回限りとする。
(4) チームの編成においては、全日制課程・定時制課程・通信制課程の生徒による混成は認めない。
(5) 出場する選手は、あらかじめ健康診断を受け在学する学校長の承認を必要とする。但し、学校感染症に感染している生徒の参加は認めない。
(6) 転校・転籍後6ヶ月未満の者の参加は認めない。但し、一家転住等やむを得ない事情の場合は、所属高等学校長の申請により、県高体連会長の認可があればその限りではない。
(7) **学校感染症に罹患している生徒の大会への出場は認めない。**
(8) 30Mラウンドは大会時に全ア連登録1年未満の選手とする。
(9) **上位大会(九州高等学校アーチェリー新人大会)に出場可能な者**
6. 引率・監督について
(1) 引率責任者は、団体の場合は校長の認める当該校の職員とする。個人の場合は校長の認める学校の職員とする。また、校長から引率を委嘱された「部活動指導員」(学校教育法施行規則第78条の2に示された者)も可とする。但し、「部活動指導員」に引率を委嘱する校長は、沖縄県高等学校体育連盟会長に事前に届け出る。
(2) 監督、コーチ等は校長の認める指導者とし、それが外部指導者の場合は高体連に登録するとともに、傷害・賠償責任保険(スポーツ安全保険等)に必ず加入することを条件とする。
7. 参加制限
(1) 団体戦は、1校男女各1チームとする。
(2) 個人戦は制限なし。
8. 参加申し込み
(1) 参加校の申込手順(締め切り日までに手続きを完了すること。電話による申し込みは受け付けない。)
ア 沖縄県高等学校体育連盟のホームページから、「アーチェリー競技申込書(以下『申込書』)」(Excelファイル)をダウンロードし、必要事項を入力する。
イ 「申込書」を各1部作成(印刷)後、所属長印を押印しPDF化する。
ウ 上記イの「PDFファイル」と、申込書の「Excelファイル」を専門委員長・高体連へメールで送信する。
専門委員長(向陽高校:平良六二)「tairamt@open.ed.jp」
高体連事務局:「kotaiaren@cello.ocn.ne.jp」
エ 上記イの「PDFファイル」を高体連事務局へメールで送信する。
(2) 申し込み締切 令和8年8月7日(金) 12:00必着(締め切り時間後は受け付けない)
申込後の訂正などは、専門委員長へ連絡すること。
9. 大会参加費
参加申込生徒一人当たり300円とし、参加申込書に記載された選手数(マネージャー、補助員等は除く)を乗じた額とする。大会終了後に県高体連事務局から各校へ請求となります。
10. 抽 選 会 令和8年8月13日(木) 16:00本部抽選とする。(向陽高等学校)

11. 表彰 優勝チームには賞状・優勝旗を、2～3位チームには賞状を授与する。
個人優勝者には賞状を、2～3位には賞状を授与する。

12. 連絡事項

- (1) 個人情報保護については「沖縄県高体連個人情報保護方針」に従って取り扱います。
- (2) 競技中の疾病傷害などの応急処置は主催者側で行うがそれ以上の責任は負わない。
- (3) 着衣は、原則(公財)全国高体連アーチェリー専門部の服装規定に従う。
- (4) 雨天時はレインコート着用を認める。
- (5) 弓検査は競技開始30分前から行う。
- (6) 採点は選手相互の看的で、得点の読み上げは矢の所有者が行い、同一立順の相手か記録補助員が記入し、他の選手がこれを確認する。得点に異議があるときは審判を呼んで判定させる